



シラバス参照

講義名	ビッグデータ分析A		
(副題)			
開講責任部署	太宰府		
講義開講時期	春学期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	0.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3時限
校地	太宰府		
科目分類名			
科目分野名			
対象学科・年次	経営学科 ・ 2年～4年次		
必須/選択			

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 内保 光太郎	指定なし

学習目標(到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ分析におけるシステムアーキテクチャが説明できる ・分散処理の概要を説明できる ・ビッグデータの収集、蓄積、活用方法を説明できる
授業概要(教育目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義では、近年用いられている技術をベースに、ビッグデータの収集、蓄積、活用までの技術を学ぶ。 ・システムアーキテクチャについて理解し、ビッグデータの運用方法の基本について修得する。 ・データの種別を理解し、データの収集・蓄積方法の基礎を身につける。

授業計画表

回	内容
第1回	オリエンテーション
第2回	ビッグデータ分析の全体像①(ビッグデータと分散処理)
第3回	ビッグデータ分析の全体像②(ビッグデータ分散システム)
第4回	ビッグデータ分析システムのアーキテクチャ①(アーキテクチャの全体像)
第5回	ビッグデータ分析システムのアーキテクチャ②(データの生成・収集・蓄積・活用)
第6回	分散処理の基礎①(ボトルネック解析)
第7回	分散処理の基礎②(分散システム)
第8回	機械学習の基礎①(機械学習)
第9回	機械学習の基礎①(ディープラーニング)
第10回	ビッグデータの収集①(バッチデータ収集とストリームデータ収集)
第11回	ビッグデータの収集②(データベースからのデータ収集)
第12回	ビッグデータの蓄積
第13回	ビッグデータの活用①(データマート、アドホック分析)
第14回	ビッグデータの活用②(データの可視化、データアプリケーション)
第15回	メタデータ管理

第16回	(定期試験)
授業形式	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン（講義形式）で授業を行う。 ・パワーポイントによるプレゼンテーションを中心に講義を実施。 ・場合によって、プリント配布などを行う。 ・15回の講義において、レポート提出・小テストを実施する。
評価方法	<p>定期試験+ 提出物+小テストにて決定</p> <p>※コロナの状況により、定期試験をレポート等に変更する場合がある。 ※2/3以上の出席がない場合は、単位を認定することができない。</p>
テキスト	<p>【図書名】 図解即戦力 ビッグデータ分析のシステムと開発がこれ1冊でしっかりわかる教科書 【著者名】 渡部鉄太郎 【出版社】 技術評論社 【価格（税込）】 2398</p>
テキストISBN番号	9784297108816
参考文献	必要に応じて、参考文献を授業で使用します。その際に、詳細は紹介します。
オフィスアワー(授業相談)	執務室に在室している時間帯は、いつでも相談可能です。事前に連絡を頂けると助かります。
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・講義では、実務で導入したアーキテクチャを含めて、紹介しその時の課題や議論となった点について言及していきます。 ・知らない用語が多くてでくるとは思いますが、全ての用語を説明していると講義が進まない可能性がありますので、重要な箇所は説明しますが、細かい部分は自分で積極的に調べるなど行ってください。 ・本講義で学ぶようなシステム構成でビッグデータを扱う企業が増えてきていますので、就職活動も見据えて学ぶと、より身になる学習ができるでしょう。
準備学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に、授業範囲のテキストを読んでおく ・授業で分からなかった語句を、授業後に調べておく（分からなかったものについては、先生に確認する）

[ウインドウを閉じる](#)